

道路路面状態把握システム

アメリカ合衆国におけるプローブ情報を活用した
高度なシステムの展開可能性に関する調査等の請負

* 日本国総務省委託調査

目的・狙い

自動車本体より得られるプローブデータ（位置データ、CAN データ）から路面の平坦性を解析することで、路面状態を類推し道路劣化の有無、メンテナンスの必要性の有無を判断するシステムの可能性検証

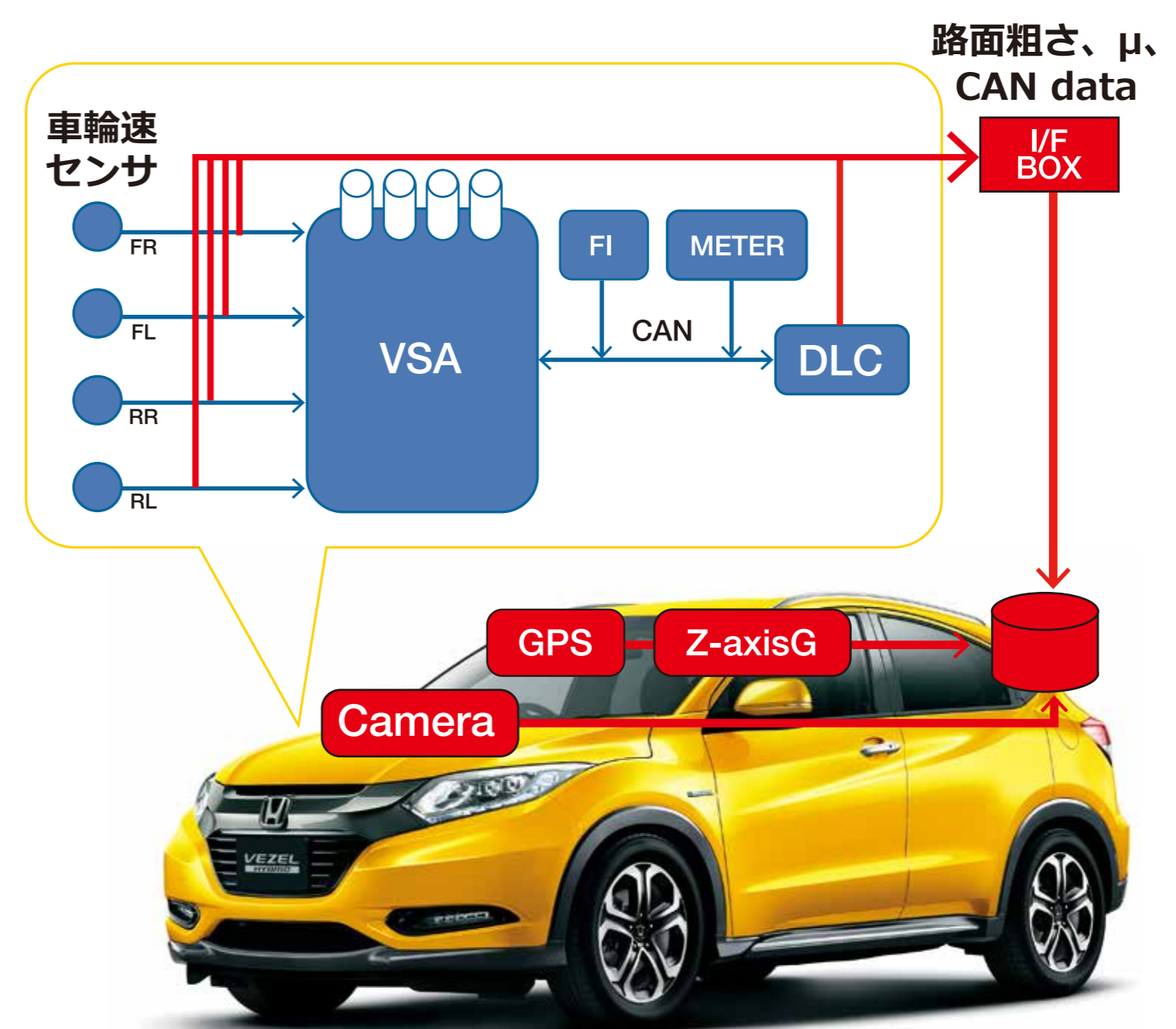
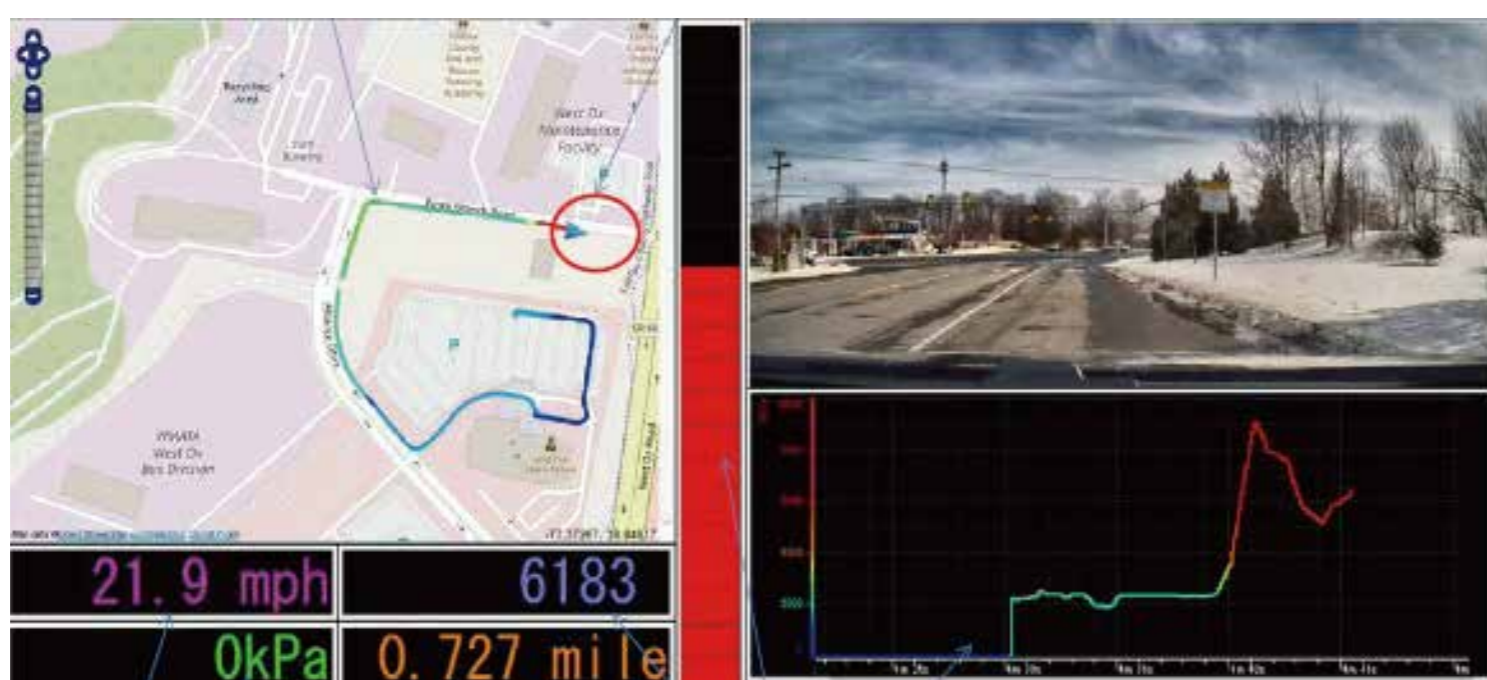
実装の概要

車輪速センサと、車両挙動センサのデータの変化から路面の凹凸を検出し、車載通信機能を用いて、道路路面データと紐付ける位置情報と共にリアルタイムで道路路面データをサーバに送信する。送信されたデータは、分析され道路の劣化変化を元にメンテナンスの必要性の判断を行う。



機能・仕組み

VSA 車輪速センサと、車両挙動センサのデータの変化から路面の凹凸を検出する機能と走行前方画像を記録するカメラを搭載しリアルタイムで走行路面の評価を可能とした。



効果・性能

日本、アメリカで 10000 km以上の走行テストを行い、路面の凸凹とそれを示す数値の相関があることを確認した。

